

# 田原がイチバン 田原のイチバン & 田原の自慢

H21.8.10更新

## まずは、田原市ってこんなまち

● 渥美半島の3つのまち(田原町、赤羽根町、渥美町)が合併。「田原市」誕生(H17年)  
※平成15年に田原町と赤羽根町が合併して「田原市」が誕生、その後、平成17年に田原市と渥美町が合併し現在の「田原市」が誕生

### ● 位置

愛知県の東南端、渥美半島のほぼ全域

行政面積	188.81km <sup>2</sup>
東西延長	約30km
南北延長	約10km
海岸線延長	97.1km

★三方を海に囲まれる  
 北: 三河湾  
 南: 太平洋  
 西: 伊勢湾

● 人口・世帯 66,390人 21,761世帯 (H17国勢調査)

### ● 産業の特色

- ★施設園芸を中心とした全国有数の先進農業地帯
- ★自動車産業を中心とした臨海部工業地帯は、全国有数の生産活動を誇る
- ★三河湾国定公園、県立自然公園に指定。数々の景勝地を有する伊良湖岬、サーフィンのメッカ赤羽根海岸、農業公園サンテパルク、蔵王山展望台など観光地としても有数
- ★三方を海に囲まれており漁業も盛ん。アサリや海苔、新鮮な魚など海の幸一杯

産業別就業者数

第1次産業	13,502人	33.3%
第2次産業	11,740人	28.9%
第3次産業	15,169人	37.4%

H17国勢調査

## ★田原にはイチバンがいっぱい!

そんなイチバンやまちの自慢などを統計データを基にご紹介します。

## 1 田原がイチバン

### 日本一

☆ 農業産出額 724億4千万円

☆ 花きの産出額 354億1千万円

★H17年全国1位であった生産農業所得は、H18年は2位になった。(264億8千万円)

参考 H18年生産農業所得全国1位:新潟市(282億円)、3位:銚田市(238億8千万円)

### ◆ 作物別産出額日本一

区分	産出額	全国に占める割合
きく	210億8千万円	26.7%
観葉植物(鉢)	28億5千万円	15.3%
ばら	9億円	3.9%
アルストロメリア	6億2千万円	15.4%

(H18生産農業所得統計)

☆産出額1億円以上のもの

生産農業所得統計における市区町村別のデータは、平成19年分から調査方法等が変更(多くの作物が未集計)されたため、掲載してある平成18年分が最新データとなる。

★H17年全国1位のキャベツ、ブロッコリーは3位、2位になった。[キャベツ(53億1千万円)、ブロッコリー(18億円)]

参考 H18年キャベツ1位:群馬県嬬恋村(124億4千万円)、2位:千葉県銚子市(70億8千万円)

H18年ブロッコリー1位:埼玉県深谷市(21億6千万円)、3位:鳥取県大山町(6億9千万円)

☆第1次産業就業者の割合 **33.3%** ※全国の市の中で1位(H17国勢調査)

☆完全失業率の低さ **2.39%** ※全国の市の中で1位(H17国勢調査)

☆吉胡貝塚縄文人骨出土数 **350体以上**

☆貨物自動車保有台数(1世帯当たり) **1.153台** ※貨物自動車+軽貨物 自動車検査登録協会 全国軽自動車協会連合会 (H17)

## 愛知県内1位 ※日本一は除く

☆耕種(野菜・花き・果実等)産出額 **557億円** ★全国では2位

◆花きの種類別産出額県内1位(日本一は除く)

区分	産出額	全国順位
花木類(鉢)	25億4千万円	2位
トルコギキョウ	3億4千万円	2位
ガーベラ	2億7千万円	3位
スイートピー	1億6千万円	4位
サボテン類(鉢)	1億2千万円	7位

★シクラメン(鉢)は県内2位(全国2位)3億円

◆野菜の種類別産出額県内1位

区分	産出額	全国順位
キャベツ	53億1千万円	3位
トマト	45億9千万円	3位
メロン	23億6千万円	7位
ブロッコリー	18億円	2位
スイカ	8億7千万円	22位
セルリー	5億1千万円	6位
スイートコーン	4億5千万円	5位
チンゲンサイ	4億3千万円	3位

★しそは県内3位(全国5位)6億5千万円

★さやえんどうは県内2位(全国7位)2億8千万円

☆畜産の産出額 **167億円** ★全国では9位

◆畜産の種類別産出額県内1位

区分	産出額	全国順位
豚	71億8千万円	7位
乳用牛(生乳)	34億5千万円	30位
肉用牛	26億8千万円	36位

★鶏卵は県内2位(全国35位)23億7千万円

★うずら卵は県内2位(全国2位)3億1千万円

(H18生産農業所得統計)※産出額1億円以上のもの

生産農業所得統計における市区町村別のデータは、平成19年分から調査方法等が変更(多くの作物が未集計)されたため、掲載してある平成18年分が最新データとなる。

☆農家1戸当たり生産農業所得 **580万円** ※1

☆耕地10a当たり生産農業所得 **41万円** ※2 (※1~※2はH18生産農業所得統計)

☆第1次産業就業者の割合 **33.3%** (H17国勢調査)

☆農業就業者の割合 **31.7%** (H17国勢調査)

☆専業農家率 **45.4%** [世帯員のうちに兼業従事者が1人もいない農家(H17農林業センサス)]

☆主業農家率 **65.7%** [農業所得が主(50%以上)で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる世帯(H17農林業センサス)]

☆就業者のうち自宅従業の割合 **37.7%** (H17国勢調査)

☆就業者のうち家族従業者の割合 **22.1%** (H17国勢調査)

☆労働力率 **73.8%** [15歳以上人口に占める労働力人口の割合(H17国政調査)]

☆犯罪率(人口1,000人当たり認知件数)の低さ **8.24件** ※県内35市中1位(H20愛知県警察本部)

☆年間平均風速 **3.8m** 伊良湖特別地域気象観測所[過去10年平均(県内11観測所中1位)]

☆年間日照時間 **2,180時間** 伊良湖特別地域気象観測所[過去10年平均(県内11観測所中1位)]

☆低い山 **潮海山(西神戸町) 27m**

## 2 田原のイチバン

## 自然・土地

☆高い山	大山	327.9m	
☆大きな川	汐川	長さ8,876m	流域面積37.3km <sup>2</sup>
☆大きな池	芦ヶ池	45.7ha	
☆大きな干潟	汐川干潟	280ha	日本最大級
☆高い木	泉福寺のスギ	28m	
☆太い木	大久保神社のヤマモモ	605cm	
☆多い地目	農地(田・畑)	7,310ha(38.8%)	(H19固定資産概要調書)
☆高い地価(住宅地)	田原町汐見88	80,100円/㎡	(H20地価公示価格)
☆高い地価(商業地)	田原町柳町12-2外	99,000円/㎡	(H20地価公示価格)

## 校区(自治会)

☆広い面積 童浦校区 2,267ha

☆人口

区分	校区		自治会	
	最多	最少	最多	最少
国勢調査 H17.10.1現在	童浦 7,804人	伊良湖 944人	西浦 2,745人	長上 81人
住民基本台帳・外国人登録 H21.3.31現在	童浦 7,001人	伊良湖 923人	中山 2,601人	長上 82人

※国勢調査は、当該住居に3か月以上住んでいるか住むことになっている者を常住者として調査対象としているため住基とは差異が生じる。

☆世帯

区分	校区		自治会	
	最多	最少	最多	最少
国勢調査 H17.10.1現在	童浦 3,951世帯	伊良湖 275世帯	西浦 2,506世帯	長上 15世帯
住民基本台帳・外国人登録 H21.3.31現在	童浦 2,922世帯	伊良湖 266世帯	西浦 1,271世帯	長上 16世帯

※国勢調査は、当該住居に3か月以上住んでいるか住むことになっている者を常住者として調査対象としているため住基とは差異が生じる。

☆年齢等

区分	校区	
	高い	低い
平均年齢	若戸 47.4歳	童浦 35.4歳
年少人口(0~14歳)割合	神戸 17.4%	若戸 11.5%
生産年齢人口(15~64歳)割合	童浦 75.7%	六連 56.8%
老年人口(65歳以上)割合	六連 27.6%	童浦 9.9%
老年化指数(老年人口/年少人口)	若戸 239.8	童浦 71.0

H17国勢調査

☆農業就業者率が高い 和地校区 68.4% (H17国勢調査)

☆製造業就業者率が高い 童浦校区 61.6% (H17国勢調査)

☆大家族(7人以上)率が高い **六連校区** **14.5%** [一般世帯(H17国勢調査)]

☆1戸建住宅1戸当たり延べ面積の最大 **堀切校区** **178.5m<sup>2</sup>** (H17国勢調査)

☆構成自治会数が多い **神戸校区** **15自治会**

## 学校・保育所

### ☆児童・生徒数

区分	最 多	最 少
保育所(21園)	第一保育園 150人	南部保育園 23人
小学校(20校)	童浦小学校 428人	伊良湖小学校 44人
中学校(7校)	田原中学校 605人	泉中学校 113人

H21.5.1現在

## 産 業

☆多い農業種類(販売額6割以上) **花き・花木** **1,612戸(41.1%)** (H17農林業センサス)

☆多い漁業種類 **採 貝** **248経営体(50.9%)** (H15漁業センサス)

☆多い事業所(産業分類別) **卸売・小売業** **802事業所(30.3%)** (H18事業所統計調査)

☆多い商店(産業分類別) **その他の小売業** **242事業所(30.0%)** (H19商業統計調査)

☆年間販売額の多い商店(産業分類別) **飲食料品小売業** **212億円(20.9%)** ( " )

☆多い製造業(産業分類別) **食 料 品** **28事業所(29.5%)** (H19工業統計調査)

☆年間製造品出荷額等の多い製造業(産業分類別) **輸送機械** **2兆6639億円(98%)** ( " )

※H19工業統計調査の数値は、従業者4人以上の事業所である。

## その他

☆多い世代(5歳階級別) **55~59歳** **4,831人(7.3%)** (H17国勢調査)

☆多い外国人 **中 国** **755人(68%)** (H21.3.31現在)

☆大きな都市公園 **白谷海浜公園** **10.80ha**

※中央公園 14.50ha 未完成(供用面積3.92ha)

☆利用者の多い観光施設 **伊良湖旅客ターミナル** **820,740人** (H19年度)

☆日本の100選等の選定数 **恋路ヶ浜** **5種類**

◆日本の道100選(恋路ヶ浜ルート) ◆日本の白砂青松100選  
◆日本の音風景100選 ◆日本の渚・百選 ◆恋人の聖地

☆発電量の多い風力発電所 **田原臨海風力発電所(かぜりん)** **22,000kW(2000kW×11基)**

☆大きな住宅開発地 **西浦団地** **1,577戸 28ha**

☆大きな市営・県営住宅 **サンコート田原** **195戸**

☆会員数の多い子ども会	中山子ども会	133人	(H21.4.1現在)
☆会員数の多い老人クラブ	保美老人クラブ	411人	(H21.4.1現在)
☆歴史の古い寺	泉福寺(山田町)	743年(天平15年)頃	
☆歴史の古い神社	阿志神社(芦町)	851年(仁寿元年)頃	

## 3 田原の自慢

### 自然・観光

#### ☆市内ほとんど自然公園

田原市の市域のほとんど(88.4%)が三河湾国定公園及び渥美半島県立自然公園に指定されている。まさに、まちそのものが自然公園であり、数々の景勝地や日本の100選、貴重な動植物などにふれあうことができる。

三河湾国定公園	4,133ha(21.9%)
渥美半島県立自然公園	12,556ha(66.5%)
計	16,689ha(88.4%)

H20土地に関する統計年報

#### ☆きらめきの景勝地などなど

田原市は、自然豊かな景勝地や数々の観光施設を有している。黒潮浪漫あふれる太平洋側には、恋路ヶ浜や伊良湖岬灯台、日出の石門などに代表される伊良湖岬、サーフィンのメッカである太平洋ロングビーチ、三河湾側には、白谷・仁崎・伊良湖の各海水浴場、潮干狩りやマリンスポーツなどなど。また、太平洋から昇る朝日や三河湾に沈む夕陽など、さまざまな表情の「海」を楽しむことができる。蔵王山展望台からは、太平洋・三河湾を一望でき、夜景も楽しめる。さらには、新鮮な海の幸や地元の食材を味わうことのできるホテルや民宿、道の駅などもあり、花やメロンなど農業と観光の連携による取り組みも盛んになってきている。

#### ☆ふるさとの勲章「100選」あれこれ

名 称	選 定 地 等	選定年
日本の道100選	渥美サイクリングロード	昭和61・62年
日本の白砂青松100選	恋路ヶ浜	昭和62年
	伊良湖開拓地海岸防災林	
残したい日本の音風景100選	恋路ヶ浜の潮騒	平成8年
日本の渚・百選	恋路ヶ浜	平成8年
日本の水浴場55選	伊良湖海水浴場	平成10年
日本の灯台50選	伊良湖岬灯台	平成10年
日本の水浴場88選	仁崎海水浴場	平成13年
日本夜景100選	蔵王山展望台	平成16年
美しい日本の歩きたくなるみち500選	「花鳥風月」華山の世界を訪ねるみち	平成16年
恋人の聖地	恋路ヶ浜と伊良湖岬灯台	平成18年
日本風景街道渥美半島菜の花浪漫街道	渥美半島(国道42号・259号を軸に市内全域)	平成19年

#### 「美しい愛知づくり景観資源600選」 田原市から46か所指定

「この眺めが好き」、「ずっとこのままだといいな」と、日ごろから人々が思っている風景を愛知県が募集し、「美しい愛知づくり景観資源600選」が平成20年3月に決定した。田原市は600選のうち46か所と最も多くの指定を受けた。伊良湖岬や太平洋、三河湾、蔵王山、菜の花畑など美しい景観の宝庫である田原市。「とっておき」の景観は、ふるさと田原の「とびっきり」の自慢である。

## ☆自然のお宝 天然記念物

区分	名 称	場 所	指定年月日
国指定	宮山原始林	伊良湖町	昭和29. 8. 3
	椈のシデコブシ自生地	伊川津町	昭和45. 6.19
県指定	黒河湿地植物群落	大久保町	昭和46. 2. 8
	ハマボウの野生地	堀切町	昭和30. 7. 1
	伊川津のシデコブシ	伊川津町	昭和42.10.30
市指定	藤七原湿地植物群落	田原町	平成 3. 3.22
	大久保神社のやまももの木	大久保町	平成 4. 6.25
	大久保神社の椈の木	大久保町	平成 4. 6.25
	野田小学校のホルトの木	野田町	平成 4. 6.25
	当行寺の椈の木	田原町	平成 4. 6.25
	ハマセンダン	堀切町(堀切小)	平成 5. 3. 4
	光岩	赤羽根町	平成12. 4.11
	シイの木	山田町(泉福寺)	平成17. 3.25

## ☆世界的貴重植物 シデコブシ

世界中で伊勢湾周辺にのみ自生。田原市の主な自生地は、国指定天然記念物の「椈のシデコブシ自生地」、県指定天然記念物「黒河湿地植物群落」、同じく県指定「伊川津のシデコブシ」、市指定天然記念物「藤七原湿地植物群落」があり、いずれも有数の群生地である。

## ☆日本最大級&野鳥の宝庫 汐川干潟

田原市と豊橋市にまたがる国内最大級の干潟。面積約280haで屈指の渡り鳥飛来地 確認された鳥、約250種(愛知県の記録の約65%)、バードウォッチングや自然観察に最適。豊橋市と合同で自然観察会も開催している。

## ☆日本有数「タカの渡り」ウォッチポイント 恋路ヶ浜

伊良湖岬は渡り鳥の中継地、中でも恋路ヶ浜はサシバなどの「タカの渡り」のウォッチポイントとして全国的に有名で、9月から10月のシーズンには各地から大勢のバードウォッチャーが訪れている。

## ☆「渡り」をする蝶 アサギマダラ

マダラチョウ科の1種で、秋に南下する。渥美半島も南下コースに入っており、ピークの10月中旬頃にみることができる。

## ☆絶滅危惧種 アカウミガメの産卵

5月末から8月にかけて太平洋側の砂浜にアカウミガメが産卵に訪れる。環境省のレッドデータブックへの掲載など絶滅が危惧されており、市内でも保護活動が行われている。

## ☆世界一小さいイルカ スナメリウォッチング

三河湾には世界で一番小さいイルカであるスナメリが回遊している。市内のNPO組織「スナメリくらぶ」がスナメリウォッチングを開催している。

## ☆希少 東西に伸びる半島 表浜と内海-2つの海は恵みの宝庫

渥美半島は、本州では数少ない東西に伸びる半島であり、周囲が太平洋と三河湾・伊勢湾の3つの海に面している。特に南側と北側は、表浜と内海という対照的な性質を持ち、それぞれに多種多様な海の幸やレジャーが楽しめる。複数の海を有するまちは珍しく、まさに海の恵みの宝庫である。

- ◆海の幸 太平洋…しらす、岩ガキ、ワカメ、各種魚類etc
- 三河湾…あさり、のり、白みる貝、各種魚類etc

## ☆全国人気ランキング毎年上位 トライアスロン伊良湖大会

伊良湖岬周辺を舞台に昭和62年から毎年開催。全国から約950人の鉄人が集う。福江高校の生徒をはじめとしたボランティアの数の多さやアットホーム的な雰囲気、恋路ヶ浜などの景勝地を巡るコース設営などから国内の大会の人気ランキングでも毎年上位に入っている。

## ☆集う世界のトッププロ サーフィン世界大会

赤羽根海岸(ロングビーチ、ロコポイント)を中心として平成7年から開催されている。海外や国内のトッププロが集い世界レベルのテクニクを見せてくれる。平成21年は、ロングボードの世界最高峰WLT(ワールド ロングボード ツアーズ)の大会として日本で初めて開催された。赤羽根海岸は、

こうした大会に限らず、日本屈指のサーフポイントとして全国各地から季節を問わずサーファーが訪れている。

## ☆菜の花いろいろ

田原市の花にも制定されている菜の花。市内の随所で12月ごろから約1000万本が咲き誇る。毎年1月から3月にかけては伊良湖岬を中心に「渥美半島菜の花まつり」を開催。菜の花のライトアップや特産市、菜の花狩りなどが楽しめる。また、菜の花を使った料理や菜の花せんべい、さらにはエコ・ガーデンシティ構想の「菜の花エコプロジェクト」により生産される菜種油「たはらっこ」など、「食」へのアイデアも花開いている。

## ☆歌いつがれる名曲 ふるさとのメロディー 「椰子の実」の歌

明治31年、日本の民俗学の父、柳田國男が伊良湖岬を訪れた。このとき、恋路ヶ浜で拾った椰子の実の体験を親友島崎藤村に話したことが素材となり、抒情詩「椰子の実」が誕生した。その後、昭和11年には、大中寅二の作曲により「椰子の実」の歌がつくられ、NHKの国民歌謡として東海林太郎の歌唱により全国に流れ広まった。昭和63年からは椰子の実浪漫の再現として、愛のココナッツメッセージ「やしの実投流」も定番の人気イベントとして継続実施されている。「椰子の実」の歌は、伊良湖岬のテーマミュージック的存在、そしてふるさとのメロディーとして人々の心を癒し、歌い継がれている。

## ☆浪漫再現 愛のココナッツメッセージ「やしの実投流」

島崎藤村の「椰子の実」の詩の再現として昭和63年から実施。「名も知らぬ遠き島」を石垣島に見立て、オーナー会員を募集して、プレート付きのやしの実を投流し、日本列島への漂着を期待するイベント。過去21回の投流で計101個が日本列島へ、そのうちの1つが田原市(旧渥美町)へも漂着した。流したオーナーと拾った方の対面式も実施している。

## ☆市内に3つの「道の駅」

市内には現在、3つの「道の駅」がある。東赤石地内の「めっくんはうす」、伊良湖地内の「クリスタルポルト」、そして、平成21年3月、赤羽根地内に「あかばねロコステーション」がオープンした。それぞれ、地域の特産物や土産品などを販売し、レストランや観光案内なども充実しており、個性的な観光拠点となっている。ちなみに、ひとつのまちで3つの「道の駅」を有するのは、県内では田原市のみである。

# 産 業

## ☆活力&調和

農 業	農業産出額 724億4千万円 全国1位(平成18年生産農業所得統計)
工 業	製造品出荷額等 2兆7,170億4,175万円 県内3位、全国13位(平成19年工業統計調査)
漁 業	漁獲量 13,723t 県内3位(平成19年海面漁業生産統計調査)

## ☆農業日本一

平成18年の農業産出額は724億円です。田原市の農業は昭和43年の豊川用水の通水以来、飛躍的な発展を遂げた。特に電照菊を中心とした施設園芸は全国的に有名であり、花きの産出額は354億円と全産出額の半分近くを占める。2位の浜松市の78億円を大きく引き離し、断トツの1位である。※市町村別の農業産出額データは平成19年分から調査方法等が変更(多くの作物が未集計)されたため平成18年分が最新データとなる。

## ☆躍進の原動力 臨海部工業地帯

昭和42年からの臨海部工業用地の造成及び企業誘致により、トヨタ自動車(株)田原工場をはじめとした多くの企業が進出。現在では製造品出荷額等が2兆円を超える[県内3位、全国13位(平成19年工業統計調査)]全国有数の生産活動が行われている。進出企業は、隣接の浦鬼塚内陸企業団地の企業を加えると70社となり、そのうち60社が操業している。(H21.8.1現在)大手の東京製鐵(株)田原工場の建設工事も進んでおり、臨海部の発展が田原市躍進の原動力となっている。

## ☆特産品アラカルト

農産物	電照菊、スプレー菊、鉢花、切花、観葉植物、キャベツ、ブロッコリー、温室メロン 露地メロン、トマト、ミニトマト、田原牛、あつみ牛、みかわポーク
海産物	アサリ、大アサリ、シラス、白ミル、海苔、岩ガキ、ワカメ、その他魚類
その他	あさりせんべい、たはらっこ(菜種油)、菜の花せんべい、ちりめんせんべい フォトキャンディー、芋切干ようかん

## ☆オンリーワン「カクメロ」

渥美農業高校が開発して、特許を取得した四角形のメロン。栽培の段階で金枠を取り付けて生産。JA愛知みなみとJA豊橋の協力により、田原市と豊橋市の農家で栽培されブランド化を展開。

## ☆農業リゾート サンテパーク&初立池公園

豊川用水の貯水池、芦ヶ池のほとりに整備された農業公園「サンテパークたはら」。渥美半島の農業の魅力を満載。平成19年9月にマーケットとレストランをリニューアル。マーケットには野菜や花など地元の特産品が豊富に取りそろえられ、バイキング形式のレストランも旬の地元食材をふんだんに使った約50種類のメニューは大好評。ほかにも体験工房や体験教室なども充実し、連日、多くの入園者でにぎわっている。また、豊川用水の最終貯水池としての機能を持つ初立池の周囲も農業公園として整備されている。桜や菖蒲、あじさいなどが植栽され、冬には多くの渡り鳥も飛来する。

## ☆幻想世界を演出 電照風景

電照菊栽培の夜間照明。電照により菊の開花を遅らせるため。市内各地で見られるが大規模温室群での光の家の林立は、幻想世界の風景のようであり、渥美半島の秋の風物詩である。

## 歴史・文化・教育

### ☆郷土の誇り 渡辺華山

幕末の先覚者、画家、蘭学者として有名な渡辺華山は、田原藩の家老職にあった。その功績は歴史上、美術史上高い評価を受けている。藩政を担当しながら蘭学による西洋事情の研究を深め、画家としては国宝「鷹見泉石像」ほか多くの名作を残している。華山ゆかりの地として田原市には、市博物館所蔵の重要文化財「渡辺華山関係資料」、重要美術品「紙本著色牡丹図」や蚕社の獄で田原蟄居となり最晩年を過ごした市の史跡「池ノ原幽居跡」など名所旧跡が数多く存在する。華山は、郷土を代表する偉人として、まさに田原の誇りである。

### ☆遺跡の宝庫

吉胡、伊川津、保美など数多くの縄文遺跡(貝塚)が点在している。奈良時代からは製塩が、また、平安時代末期から鎌倉時代にかけては、焼き物(渥美焼)が盛んとなり、中世における窯業の一大産地が形成されていた。これらは「渥美古窯」と呼ばれ、伊良湖東大寺瓦窯跡や大アラコ古窯跡など国指定の史跡や県市指定の史跡が残されている。

### ☆縄文人骨出土数日本一 吉胡貝塚 史跡公園「シェルマよしご」もオープン

縄文時代後期・晩期を中心とした日本を代表する貝塚遺跡。大正11・12年及び昭和26年の発掘では、350体を超える人骨のほか、土器、石器、骨角器などの遺物が多数出土し、考古学、人類学の研究に多大な貢献をした。縄文人骨出土数は日本一。ちなみに、昭和26年の発掘は、国営発掘第1号として行われた。まさに日本の文化財保護の第一歩が田原から始まったといえる。平成19年11月には、吉胡貝塚史跡公園(シェルマよしご)もオープン。各種展示施設や資料館が整備され、体験学習教室なども用意されている。

### ☆縄文人骨出土数全国上位 伊川津貝塚

吉胡貝塚同様、縄文時代後期・晩期の貝塚で、こちらも多数の遺物が出土している。なかでも叉状研歯のある頭骨や有髭土偶は非常に貴重な資料として全国的に有名である。縄文人骨出土数も191体で全国上位である。

### ☆まぼろしの古窯 渥美窯

渥美半島に分布している古窯(平安時代末期から鎌倉時代 約100群、500基以上)をまとめて「渥美窯」という。この渥美窯で焼かれた焼き物が全国各地から出土している。中には国宝や重要文化財に指定されたものもある。国宝「秋草文壺」(川崎市出土)や国宝「経筒外容器」(伊勢市出土)などは、渥美窯製品を代表する焼き物である。

### ☆中世の焼き物で唯一の国宝「秋草文壺」

渥美窯では、壺などに絵画文様を描くことが多くある。その文様は、鳥、植物など、いわゆる「花鳥画」と呼ばれるもので、この日本的な絵画文様の集大成の作品が、神奈川県川崎市でみつかった「秋草文壺」である。渥美窯で焼かれた壺としては最も優雅な形をしており、ススキ、ウリ、柳などの秋草やトンボが大胆に描かれ、日本的な秋の風情を表現している。その美しさから、中世の焼き物では唯一、考古資料としてではなく、美術工芸品として国宝に指定されている。

### ☆華麗なる山車からくり 田原祭り



「からくり人形」を載せた山車で広く知られている「田原祭り」。毎年9月中旬の3日間にわたり開催される。市内を練り歩く萱町、新町、本町の豪華な山車は、市の有形民俗文化財に指定されている。子どもが手おどりを舞う夜山車や打ち上げ・手筒・仕掛花火なども披露される。

### ☆初風・けんか風 田原風まつり

端午の節句に子どもの立身出世を願い初風を揚げたのがはじまり。毎年5月の第4土・日曜日に開催される。市の無形民俗文化財にも指定されている「けんか風合戦」では、風糸にガラスの粉を付けて、田原独特の横長の風を自由自在に操り、鮮やかな糸さばきで互いの風糸を切りあう。また、全国から風保存会や、愛好家が集い自慢の風が揚げられる。

### ☆いにしえを今に伝える まつりの数々

田原市には、ほかにもいにしえの昔から今に伝わる数々のまつりがある。長仙寺の「おたがまつり」伊良湖神社の「おんぞまつり」、「ごせんだらまつり」、小中山町六所神社、田戸神社の「かあかまつり」などなど。先人たちの生活の息吹や風習が歴史をこえて現代に伝承されている。

### ☆俳聖芭蕉の愛弟子 杜国 毎年「杜国祭」も実施

江戸初期の俳人、杜国は俳聖芭蕉の愛弟子である。名古屋で米穀商を営んでいたが、晩年は、現在の保美町に居を構え、1690年に亡くなった。芭蕉の有名な句「鷹ひとつみつけてうれしいらご崎」は、杜国を訪ねた折、詠まれたものである。杜国の墓のある福江町の潮音寺では、毎年4月に杜国を偲んで「杜国祭」が行われ、俳句大会が催されている。大会には全国各地からの一般投句をはじめ、地元の小中学校からも多くの句が寄せられている。また、杜国屋敷跡は「杜国公園」として整備されている。

### ☆恋路で願かけ-潮騒浪漫 漁夫歌人 糟谷磯丸

糟谷磯丸は、伊良湖村で生まれた江戸時代末期の歌人である。一漁夫で最初は文字の読み書きはできなかったが、母の病氣全快を願い、伊良湖神社に日参するうちに参詣人の詠む古歌のふしぎな響きに魅せられ、歌の道を志すことになった。生涯に数万首を詠み、その素朴な歌は多くの人に愛された。なかでも「まじない歌」は有名で、磯丸に歌を詠んでもらうと願いがかなうという噂が広まり、家内安全、恋愛成就など人々の求めに応じ多くを詠んでいる。恋路ヶ浜から伊良湖岬灯台まで続く遊歩道には磯丸の歌碑が数多く建立されている。幾種類もの「日本の100選」に選定されている恋路ヶ浜を中心とする伊良湖岬で、磯丸の歌を味わいながら願かけしてみるのも一興である。

### ☆みんな熱狂！そして感動！成章高校 甲子園で悲願の初勝利

成章高校野球部が、第80回記念選抜高校野球大会に21世紀枠で36年ぶりに出場し、悲願の初勝利を得た。平成20年3月22日、開会式直後の第1試合で北海道の駒大岩見沢高校と対戦し、見事3対2で勝利した。この日は、6,500人の大応援団も駆けつけ、アルプススタンドから内外野席まで菜の花カラー一色に染まり感動を共有した。3月27日の2回戦では、京都の平安高校と対戦し、惜しくも2対3で敗れたが、100年を超える野球部の歴史、そして、ふるさと田原の歴史に燦然と輝く1ページを刻んだ。

### ☆成章高校応援団 甲子園に菜の花満開 応援団賞最優秀賞受賞

第80回記念選抜高校野球大会に出場した成章高校が、全出場校の中から最も優れた応援団に贈られる「応援団賞最優秀賞」を受賞した。平成20年3月22日、開会式直後の第1試合には、地元住民や全国のOBなど6,500人が集結。アルプススタンドから内外野席まで市の花「菜の花」をイメージした帽子やメガホンなど「黄色」で埋め尽くし、チアリーダー、ブラスバンド、地域住民が一丸となって大声援をおくり、強烈な印象を残して開幕試合を盛り上げたことなどが認められた。

### ☆大臣表彰受賞 田原市図書館

市内には、3つの図書館があり、2台の移動図書館も小学校を巡回している。蔵書点数は43万3千冊。小学生への貸し出し冊数は、平成20年度実績で20.1冊。全国平均の18.7冊(平成16年度)を上回る。こうした実績が認められ、平成19年度「子ども読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受けた。なお、大人を含めた貸し出し点数も住民1人当たり13.6冊(平成20年度)で、全国平均5.0冊(平成18年度)を上回り、県下でもトップクラスである。

## まちづくり・環境

### ☆たはらエコ・ガーデンシティ構想

環境と共生する豊かで持続可能な地域づくりを目指した「たはらエコ・ガーデンシティ構想」を平成16年3月に策定。「菜の花エコプロジェクト」をはじめとした各種施策や「あつまれ！得するサマーフェア」

など市民と行政が一体となって環境にやさしいまちづくりを進めている。同構想は、次のとおり国・県等の表彰を受けている。

H15年 6月	環境共生まちづくり全国モデル選定
H16年12月	循環・共生・参加まちづくり環境大臣賞受賞
H16年12月	国土交通省環境行動計画全国モデル地域に選定
H17年10月	「新エネルギー財団会長賞」受賞
H21年 4月	「新エネ百選」に選定

※同構想の主要プロジェクト「菜の花エコプロジェクト」に市と協働で取り組むNPO法人田原菜の花エコネットワークがH19年2月、愛知県環境賞優秀賞受賞

### ☆ごみから炭づくり 田原リサイクルセンター「炭生館」

平成17年4月稼働、もやせるごみを炭化処理する施設。ごみ処理施設のPFI事業としては全国初の施設。作られた炭は販売。環境に配慮された施設で、隣接地には当施設の消費電力の相当分を賄う目的で1,980kWの風力発電施設が建設された。(ごみ処理能力…1日60t/年間1万6千t)

H18年 2月	バイオマス利活用農林水産大臣賞受賞 愛知県環境賞金賞受賞
---------	---------------------------------

### ☆くるくるエコエネ 風力発電

田原市は日本でも有数の風の強い地域である。この風を生かし官民を通して数々の風力発電施設が設置されている。その数は、平成20年度までに23か所44基にのぼり、総発電出力は47,300kWである。これは、一般家庭約3万世帯の年間消費電力に相当する。

### ☆全国トップクラスの設置率 太陽光発電

田原市の年間日照時間は、過去10年の平均を見ても県内1位である。豊富な日照時間を生かし、太陽光発電設備の設置も盛んである。公共施設への率先導入は47施設。住宅への設置については補助制度も有しており設置率は、持家世帯の4.6%で全国トップクラスである。(H11～20年度までの補助件数:648件)

### ☆「住みやすい街」ランキングなど上位にランクイン

大手月刊誌や新聞社などが、各種の指標等を用いて自治体のランク付けを行っている。月刊現代(H19年11月号)が地価、失業率、医療、福祉、借金の指標を用いて行った「住みやすい街」ランキングで、田原市は全国4位に。また、日本経済新聞社が平成19年12月に発表した環境、経済・財政、暮らしのバランスがとれた都市[サステナブル(持続可能な)都市]のランキングでは、全国8位にランクインしている。

### ☆菜の花いろいろPART2 浪漫街道 イエローカラー満開

菜の花に関する取り組みは地域づくりにも活かされている。平成19年末には国道を軸に市内全域をエリアとして国土交通省が所管する日本風景街道に「渥美半島菜の花浪漫街道」が登録された。(平成21年2月現在105ルート)また、平成20年1月には豊橋鉄道の電車やバスの車両に「なのはな号」が登場。3月には福江地区まちづくり会議の企画により、同地区高田歩道橋が菜の花模様に装飾されるなど、地域をあげて菜の花を満開に咲かせている。

### ☆県内初 「こども110番バス」発車

豊鉄バス(豊橋市)と関連会社の豊鉄ミデイ(田原市)が、平成20年1月から市内全路線を走るバスを「こども110番バス」として運行している。伊良湖本線とぐるりんバス計20両に110番のステッカーを張り、緊急時に助けを求めた子どもを乗せ、警察に通報する。愛知県内では初の取り組み。

### ☆つなぐ心 響きあうまちづくり 交流事業

田原市は、海外に4か所、国内に3か所の姉妹・友好都市を持ち交流事業を行うとともに独立行政法人国際協力機構(JICA)からの農業研修生受け入れ等の国際協力活動を実施している。

#### ◆海外

姉妹都市	ジョージタウン市[アメリカ ケンタッキー州]
	銅雀区(とんじゃく)[韓国ソウル特別市]
友好都市	プリンス頓市及びギブソン郡[アメリカ インディアナ州]
	昆山市(こんざんし)[中国 江蘇省]

#### ◆国内

姉妹都市	設楽町(旧津具村)[愛知県北設楽郡]
友好都市	宮田村[長野県上伊那郡]
	阿南町[長野県下伊那郡]